

平成30(2018)年度文化庁と群馬大学との共同研究ワークショップ&シンポジウム

文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業

「文化芸術による社会包摂型度の評価手法・ガイドライン(エビデンス・プロジェクト評価)の構築」

文化芸術による 社会包摂は可能か？ 芸術と医療・福祉の 対話と越境

11 / 16
(金)

文化芸術基本法に社会包摂の理念が明記されましたが、実際は障害者・高齢者等の芸術活動の支援・振興はスタートラインに立ったばかりです。現在障害をもつ方々を中心に、今までアートから遠かった方々と協働する芸術活動は随分と増えてはいます。しかしながら、それらはばらばらな実践はあるものの、その出来事を省察・評価し、これらに横串を通す理念形成、特に医療・福祉ではあたりまえになっている全体を俯瞰する「ガイドライン」的な指針がないことに気づきます。アートを中心にして、みんなが地域で幸せに暮らすシステムづくりや、そのためのガイドライン作成を目指すべきだと考えました。大きくなりすぎた世界の中で、ばらばらになったシステムを調整・統合しながら地域で幸せに暮らすためには、アートの機能を「生きるための身体技法」としてとらえ、創造的で持続可能な共生社会の基盤になるべきと考えたのです。

「文化芸術による社会包摂は本当に可能なのだろうか？」このシンポジウムは、「社会包摂」というキーワードで今まで分断されてきた芸術と医療・福祉の架橋／越境を試みます。このシンポジウムがまた新たなフェーズを持つ議論のスタートになることを期待しています。

from Art



©竹中稔彦

吉岡 洋 (よしおかひろし)
京都大学こころの未来研究センター 特定教授

from Medical welfare



柳澤 理子 (やなぎさわさとこ)
愛知県立大学看護学部教授

from OT



川口 淳一 (かわぐちじゅんいち)
特定医療法人社団同樹会 結城病院リハビリテーション部 作業療法科科长・作業療法士

講師

※OTとはOccupational therapyの略。

コーディネート・進行



茂木 一司 (もぎかずじ)
群馬大学教育学部教授
NPO法人WSD推進機構理事長



朝倉 由希 (あさくらゆき)
文化庁地域文化創生本部研究官



主催 : 文化庁地域文化創生本部
群馬大学
運営 : 群馬大学教育学部茂木一司研究室
事業協力 : 社会福祉法人清水の会えいめい・
アーツ前橋・NPO 法人まえばしプロジェクト